2025 年 4 月版
重要情報シート

販売会社：株式会社東京スター銀行

この資料は、この商品の全ての事項を記載したものではありません。ご検討、お申込みに際しては、「契約締結前交付書面」を必ずお読みください。

1．商品等の内容

金融商品の名称・種類	「右肩上がり円定期」〈仕組み預金〉満期日繰上特約付円定期預金 ・本預金は円定期預金に満期日繰上特約が付加された円仕組み預金です。
組成会社	該当なし
販売委託元	
金融商品の目的・機能	• 本預金は、当行の判断により満期日を繰り上げることができる特約（満期日繰上特約）を付加することで、当行の通常のスターワン円定期預金よりも高い利回りを目指すことを目的としています。 • 本預金は、満期日までに 1 回または 2 回金利が上がる円仕組み預金です。 • 当初満期日が繰上満期日に繰り上がった場合、払い戻された資金をその時点における市場金利の下で運用したとしても、より低利の運用となる可能性があります。 • 反対に、満期日が繰り上げられなかった場合、繰上満期日以降の本預金の金利は市場金利を下回ることになり、結果的に不利な運用となる可能性が高くなります。 • 本預金のリスクの詳細は、「2.リスク」に記載いたします。 • 本預金のイメージ図については、商品説明書（契約締結前交付書面）の＜本預金のイメージ図＞・＜繰上満期の判定イメージ図＞にて、ご確認いただけます。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	• 当初預入期間（当初満期日まで）解約しないことを前提に、通常の円定期預金よりも高い利回りを目指すお客さま。 • 一般的な円定期預金と比較した場合の本預金の目的・機能をご理解いただけるお客さま。 • 満期まで本預金を保有いただけるお客さま。 • 中途解約の必要のない余裕資金でお預け入れいただけるお客さま。 • 円定期預金に満期日繰上特約が組み込まれた商品のため、本資料や契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品性やリスクについてご理解のうえでご検討ください。
パッケージ化の有無	本預金は、円定期預金と繰上満期特約を組み合わせた商品です。 繰上満期特約を個別の金融商品として購入することはできません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

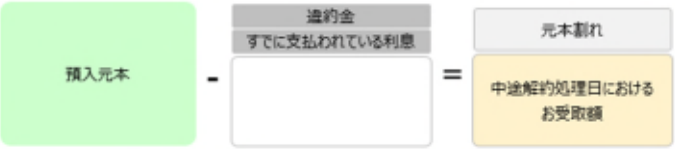
（質問例）
① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。

2．リスク　（本商品は、元本割れの可能性があり、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容

【中途解約について】

- 本預金は原則、中途解約はできません。また、預り口としてお預りする期間も中途解約ができません。例外的に当行がやむを得ないと認めて中途解約に応じる場合、違約金が発生し元本割れとなるリスクがあります。
- 中途解約時の想定損失額の詳細は、商品説明書（契約締結前交付書面）により説明させていただきますので、必ずご確認ください。



【預金保険について】

- 本預金は預金保険の対象であり、当行にお預け入れいただいている他の預金保険の対象となる預金等と合算して、元本 1,000 万円までと保険事故発生日までの利息が保護されます。ただし、保険事故発生時には本預金に内包されるデリバティブ取引は消滅し、本預金は預入時点（中間利払済みの場合は最終利払日）の店頭表示金利を適用金利とするスターワン円定期預金に切り替わります。このため、本預金の利息等については、預入日におけるスターワン円定期預金（本預金と同一の期間および金額。預入期間が 5 年を超える場合は 5 年もの。）の店頭表示金利までが、預金保険の対象となり、それを超える部分は預金保険の対象外となります。

※詳しくは商品説明書（契約締結前交付書面）をご参照ください。

※ 損失が生じるリスクの内容の詳細は、商品説明書（契約締結前交付書面）の［商品の概要］に記載しています。

（質問例）　③　上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
④　相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3．費用　（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用
（販売手数料など）

- 購入時に預入金額とは別にお支払いいただく費用はございません。
- 販売役務の対価相当額（販売に係る諸経費やアフターフォローの対価等を含む）およびデリバティブ取引に係る市場取引関係費として以下の費用が発生します。

費用一覧　（年率表示）

	3 年タイプ	6 年タイプ	10 年タイプ
販売手数料	0.01%~0.46%	0.01%~0.32%	0.01%~0.16%
市場取引関係費	0.05%~0.30%	0.05%~0.30%	0.05%~0.30%
費用合計	0.06%~0.76%	0.06%~0.62%	0.06%~0.46%

※　費用は本定期預入時に確定するため、事前に正確な料率を表示できません。
※　上記料率を上回るまたは下回る場合があります。
※　市場環境等により（市場金利の影響等で）、一部期間あるいは全ての期間において、募集を行わない場合があります。

継続的に支払う費用
（継続手数料）

なし

運用成果に応じた費用
（成功報酬など）

なし

（質問例）⑤ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
⑥ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4．換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

- 本預金の当初預入期間は３年・６年・10 年です。ただし、当初満期日から繰上満期日に繰り上がる場合があります。
- 本預金は、原則、中途解約はできません。また、預り口としてお預りする期間も中途解約ができません。
  例外的に当行がやむを得ないと認めて中途解約に応じる場合、すでに支払われている利息を元本から差し引きます。
  その後、中途解約に伴い発生する解約日から満期日までの本預金の再構築額、および解約に伴う諸経費を当行所定の計算により算出し、その算出額を違約金として預入元本から差し引きます。
  この場合、結果として元本割れが生じます。

※詳細は、商品説明書（契約締結前交付書面）の［商品の概要］に記載しています。

（質問例）⑦ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5．当行の利益とお客さまの利益が反する可能性

- 本預金は、お客さまと当行が相対で行う取引です。
- 当行の営業員に対する業績評価上、本預金の販売が他の商品の販売より高く評価されることはありません。
- 利益相反の内容と対処方針については、東京スター銀行の「フィデューシャリー・デューティーに関する取り組み方針」をご参照ください。
  https://www.tokyostarbank.co.jp/fiduciary_duty/

（質問例）⑧ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6．租税の概要（NISA、iDeCo の対象か否かもご確認ください）

利息	• 源泉分離課税 20.315%（国税 15.315%、地方税 5%）として課税されます。
マル優	• 対象外です。

※NISA、iDeco の対象とはなりません。

※詳細は商品説明書（契約締結前交付書面）の［商品の概要］に記載しています。

7．その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

- 当行が作成した商品説明書（契約締結前交付書面）
  https://www.tokyostarbank.co.jp/products/deposit/structure/soaring/pdf/outline.pdf
  ※PDF 形式で掲載しています。
  契約締結にあたっての注意事項等をまとめた商品説明書（契約締結前交付書面）については、ご希望があれば書面でお渡しいたします。